

令和元年度「沖縄力発見創造事業」
～企業の沖縄進出・事業連携の
促進を目指して(バイオ関連分野)～

令和元年度「沖縄力発見創造事業」
企業進出・事業連携プログラム 概要

日 程 2月19日～2月21日

対象企業 沖縄の有する資源やバイオ分野の研究を活用したい企業など(医療・創薬・健康・食品・化粧品・環境・エネルギー等)(計16社)

主な視察先 琉球大学(西原町)、沖縄ライフサイエンス研究センター(うるま市)、沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター(うるま市)、沖縄科学技術大学院大学(OIST)(恩納村)など

※大学や研究機関などの視察、在沖企業や業界団体とのワーキングディナー、個別相談などを実施し、活発な情報交換が行われました。

内閣府は、沖縄が持つ魅力を本土企業に理解してもらうとともに、沖縄への進出や本土企業と在沖企業の事業連携などに資することを目的として、令和元年度「沖縄力発見創造事業」企業進出・事業連携促進プログラムを実施しました。



沖縄ライフサイエンス研究センター



沖縄科学技術大学院大学(OIST)

参加者の声
(バイオ関連)

- 補助金制度が豊富で、新規事業化へのハードルが低いことを知った。(化粧品関連)
- 未利用資源が豊富で、新たな健康食品等の開発の可能性を感じた。(食品・化粧品関連)
- 地の利や最先端の研究機関等、想像以上の魅力があった。(医療関連)

令和2年3月31日、東村から多目的運動公園敷地として利用要望のあった国有地(約二万六千平方メートル)について、東村と売買契約を締結しました。

東村多目的運動公園の整備・機能強化は、第5次東村総合計画の重点プロジェクトの一つとして位置づけられています。国有地の活用により、県内外の観光客も利用可能な施設整備がなされ、スポーツイベント、合宿などの拠点として交流人口の拡大を図るとともに、令和2年度の「奄美・琉球世界自然遺産」の登録と連動した「観光ビジターセンター」との相乗効果が期待されています。

財務部は、引き続き地域の要望把握に努め、国有財産の有効活用に取り組んでいきます。

地域活性化に資する国有地の活用

観光ビザーセンター

多目的芝広場

陸上競技場

(多目的運動公園・完成イメージ図) 出典:東村